



NISSHA

2019年12月期 決算説明会

2020年2月14日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

本日のポイント

2019年12月期の実績

- 製品需要は概ね前回の業績予想（11月8日発表）の通りに推移（為替レート：¥108）
 - 売上高 1,731億円、EBITDA 52億円、営業利益 ▲43億円、経常利益 ▲46億円、親会社株主に帰属する当期純利益 ▲41億円
 - デバイス：スマートフォン向けの製品需要は年初の想定を大幅に下回る
 - 産業資材：中国向けの製品需要の減速などで国内工場の稼働が低下、一部の海外成形工場の収益性に課題
 - メディカルテクノロジー：製品需要は概ね堅調に推移
 - 非ITの成長戦略：遊休固定資産の売却益を活用し、3件のM&Aを実施（うち1件はSPA締結済み、買収完了前）

2020年12月期の見通し

- 国際財務報告基準（IFRS）を適用、為替レート：¥105/\$
 - 売上高 1,660億円、営業利益 ▲20億円、税引前利益 ▲27億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 ▲35億円（以上、新規M&Aを含まない数値）
 - 収益力強化策を実行、その一時費用を織り込み
 - 上期はコスト削減を徹底、下期は黒字化

2019/12期（年間）の実績

デバイスのスマートフォン向けの製品需要が減少し、
連結業績を圧迫

(百万円)

	2018/12期 (1-12月) 実績	2019/12期 (1-12月) 実績	前年同期比
売上高	207,404	173,189	▲16.5%
産業資材	47,124	46,463	▲1.4%
デバイス	123,541	94,706	▲23.3%
メディカルテクノロジー	22,351	24,068	+7.7%
情報コミュニケーション	13,935	7,417	*▲46.8%
その他	452	534	+18.1%
EBITDA	17,343	5,221	▲69.9%
EBITDA率	8.4%	3.0%	-5.4pt
営業利益	8,080	▲4,307	-
営業利益率	3.9%	-2.5%	-6.4pt
経常利益	7,380	▲4,696	-
親会社株主に帰属する当期純利益	4,318	▲4,131	-
為替レート	¥109/\$	¥108/\$	

2019/12期 Q4 (3カ月) の実績

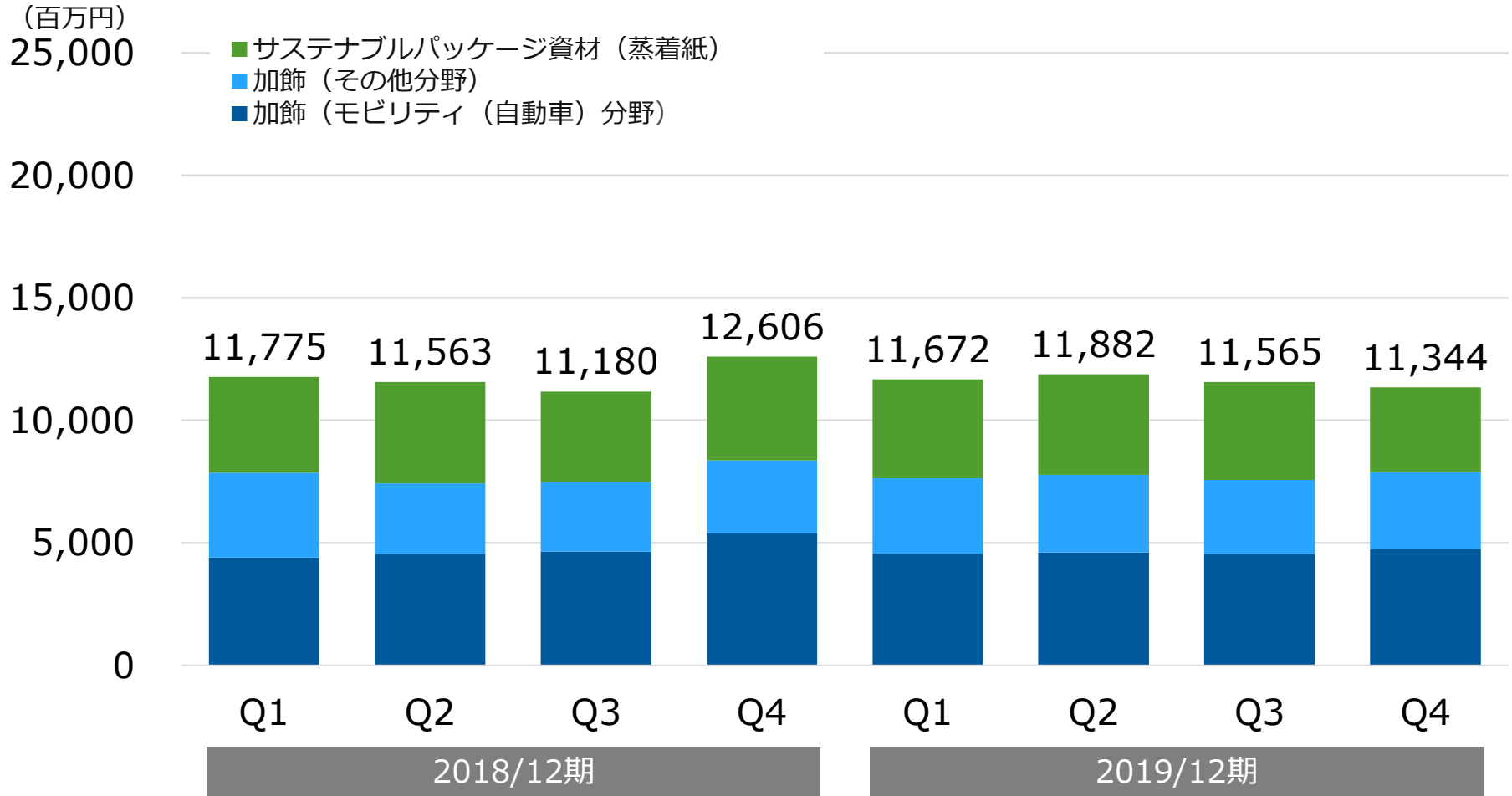
(百万円)

	2019/12期 1-3月 (Q1) 実績	2019/12期 4-6月 (Q2) 実績	2019/12期 7-9月 (Q3) 実績	2019/12期 10-12月 (Q4) 実績	前四半期比 (2019/12期 7-9月比)
売上高	34,964	38,136	52,309	47,780	▲8.7%
産業資材	11,672	11,882	11,565	11,344	▲1.9%
デバイス	15,072	18,394	33,257	27,983	▲15.9%
メディカルテクノロジー	6,145	6,140	5,922	5,861	▲1.0%
情報コミュニケーション	1,977	1,624	1,462	2,354	+61.0%
その他	95	96	105	238	+126.7%
EBITDA	▲ 170	▲ 910	3,837	2,464	▲35.8%
EBITDA率	-0.5%	-2.4%	7.3%	5.2%	-2.1pt
営業利益	▲ 2,508	▲ 3,321	1,457	65	▲95.5%
営業利益率	-7.2%	-8.7%	2.8%	0.1%	-2.7pt
経常利益	▲ 2,746	▲ 3,641	1,320	371	▲71.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 3,258	▲ 4,311	5,444	▲ 2,006	-
為替レート	¥109/\$	¥110/\$	¥106/\$	¥107/\$	

産業資材

Q4は中国向けの製品需要の低迷が継続（モビリティ）

用途別売上高（四半期）

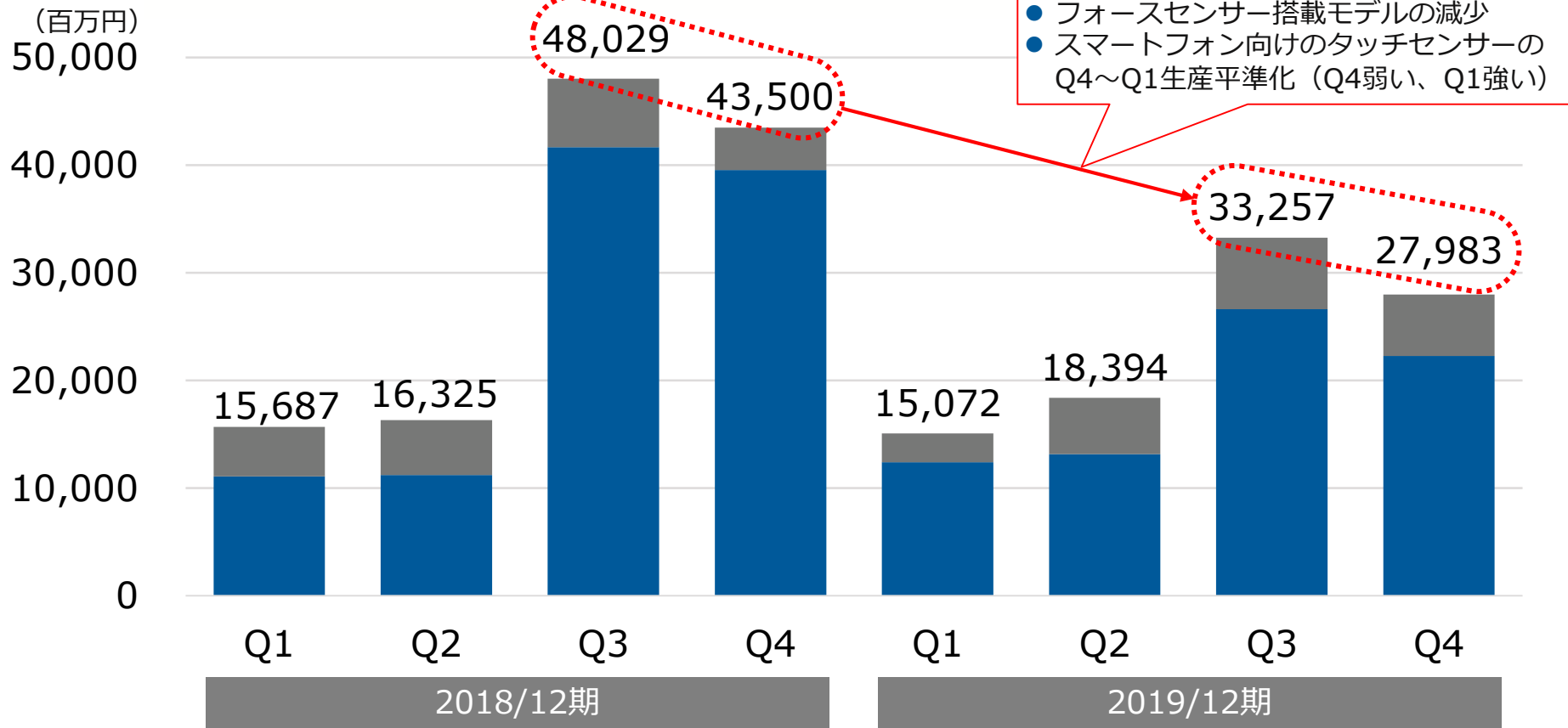


デバイス

Q4の需要は想定通りに推移

用途別売上高（四半期）

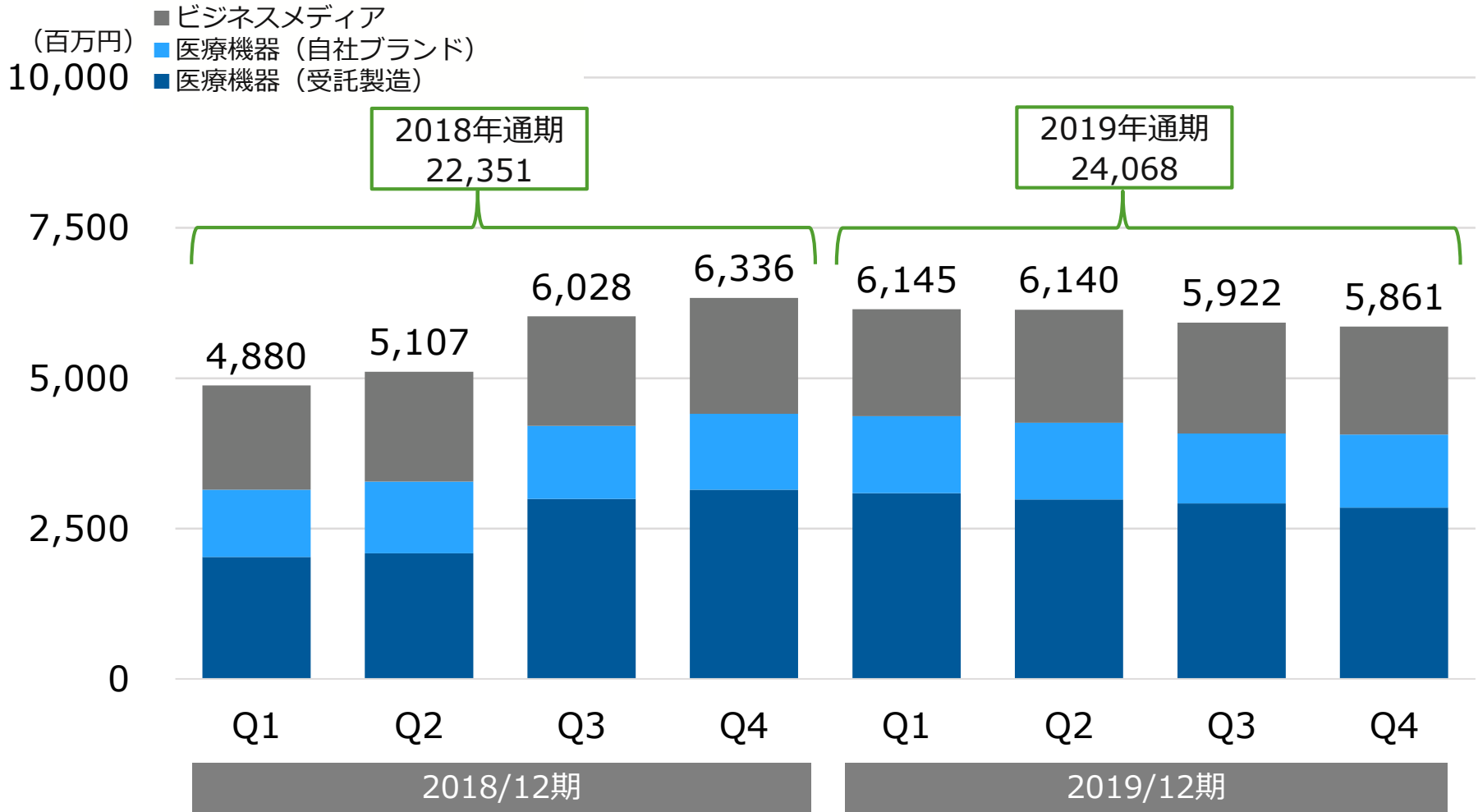
- ゲーム機・産業用機器・モビリティ（自動車）向け、ガスセンサーなど
- スマートフォン・タブレット向けなど



メディカルテクノロジー

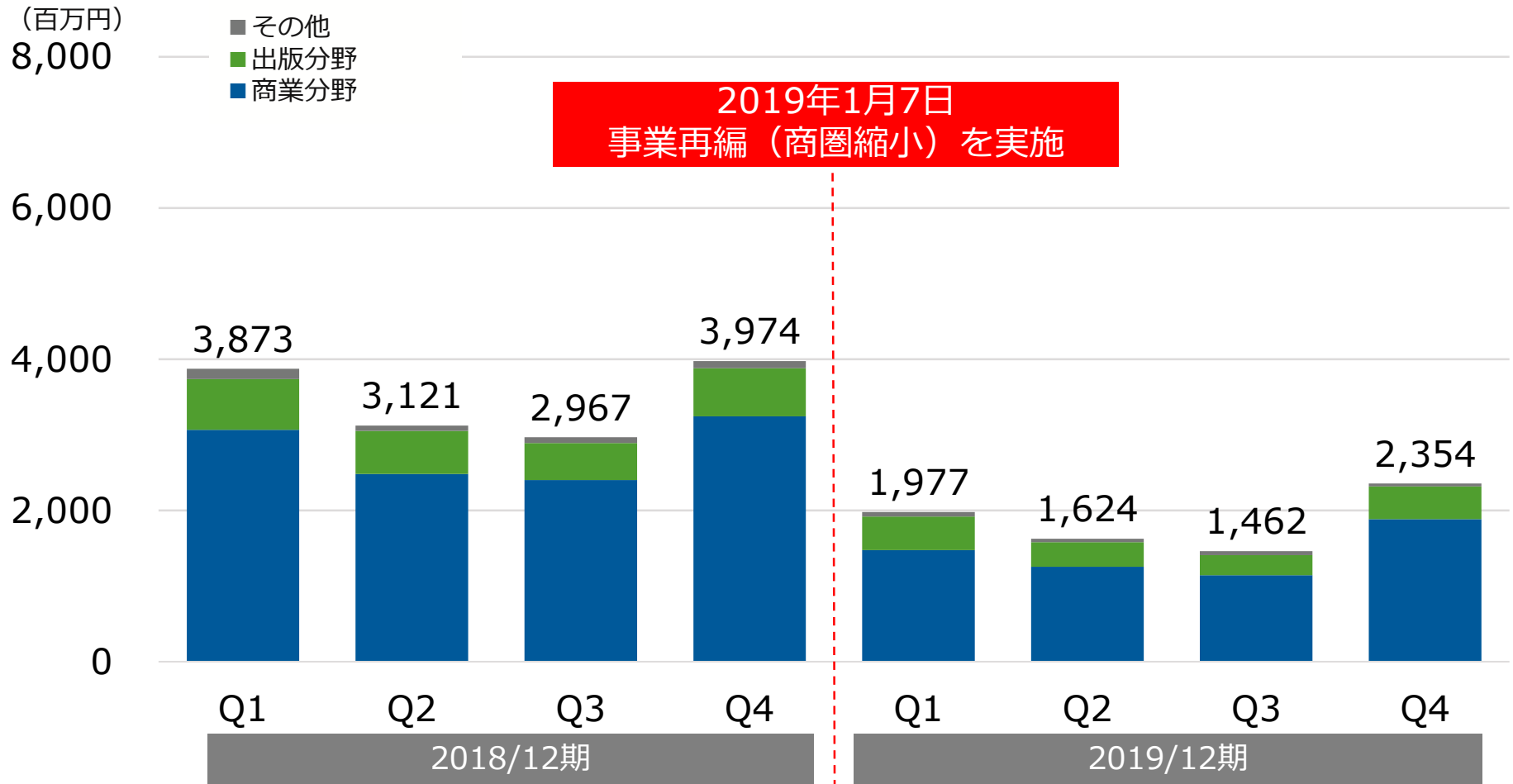
概ね堅調に推移、通期では着実に成長

用途別売上高（四半期）



情報コミュニケーション

用途別売上高（四半期）



2020年 業績予想

2020H1の収益力強化策をてこに、 2020H2以降の収益性が向上

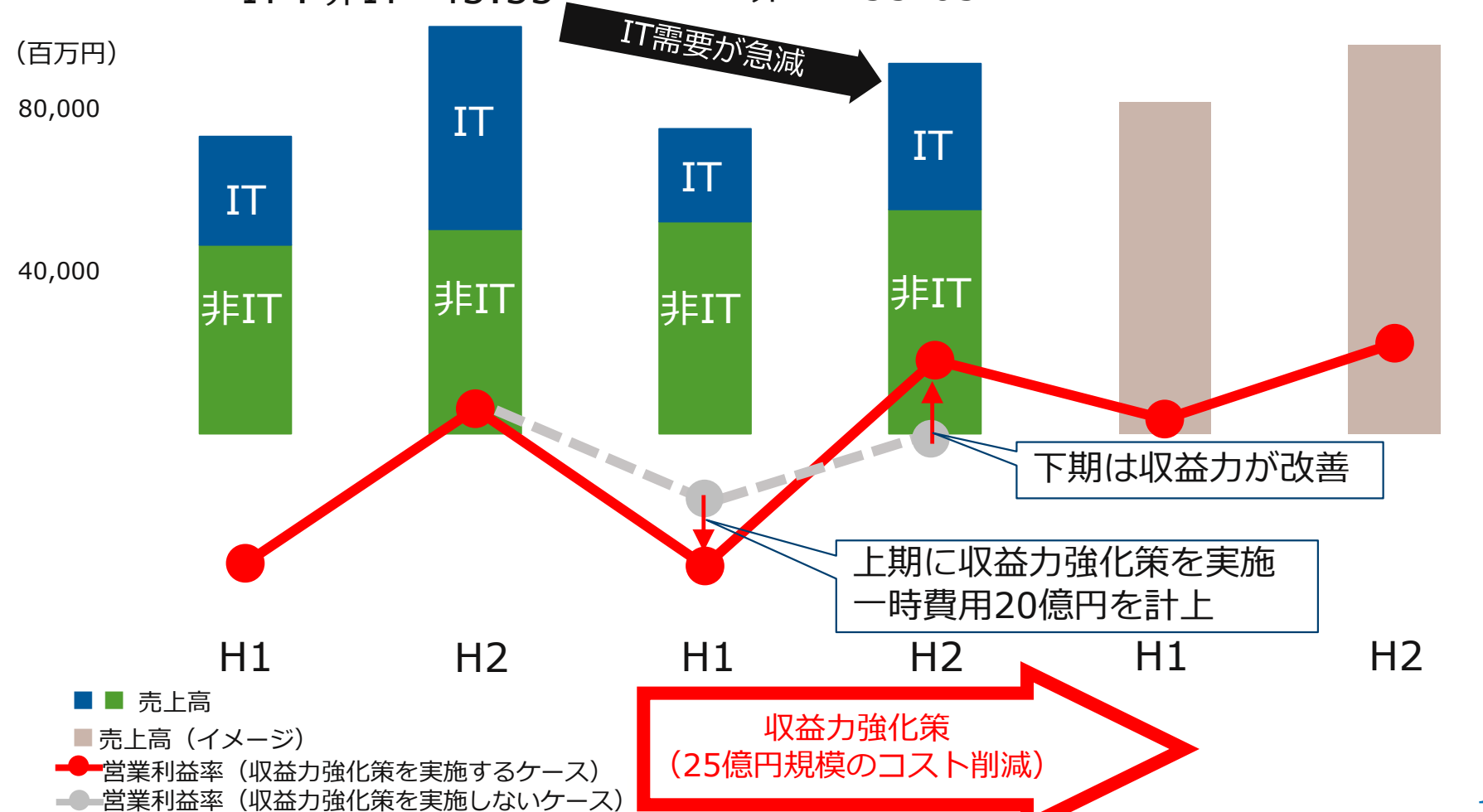
2019 (実績)

IT : 非IT=45:55

2020 (予想)

IT : 非IT=35:65

2021 (イメージ)



収益力強化策を通じて、大幅に減少する製品需要に最適な事業構造を構築

IT向けの経営ポリシー

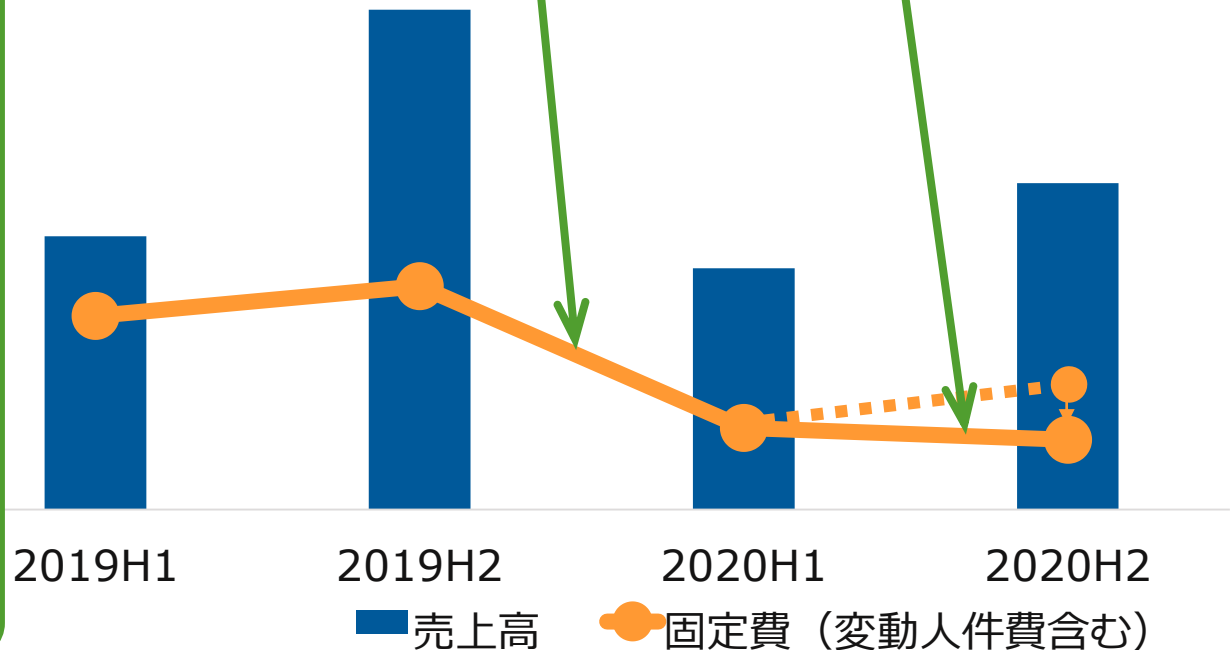
- 設備投資負担の抑制
- 人件費の変動費化
- 自動化・省人化の推進
 - AIを活用した自動検査の導入
 - RPAの活用促進

需要減少への対応

変動人件費の削減
 半期の削減効果：約35億円規模
 年間の削減効果：約70億円規模

収益力強化策の実施

固定費の削減
 半期の削減効果：約9億円規模
 年間の削減効果：約19億円規模



収益性の回復と売上高の再成長を目指す

ヨーロッパ

- 蒸着紙（サステナブルパッケージ資材）でシェア拡大

営業拠点：ドイツ、UK
成形拠点：ドイツ

日本

- 中国での需要減少を受け、国内印刷工場の稼働が低下

固定費削減（年間5億円規模）

営業拠点：京都
成形拠点：京都

北米

- 自動車向けの需要は堅調
- 家電の需要が旺盛、収益性の改善が進行（メキシコ）

メキシコ工場：2020年は営業利益8億円の改善見込み

営業拠点：アメリカ
成形拠点：アメリカ、メキシコ

中国・アジア

- 自動車向けの製品需要が低調
- 韓国：家電の受注が旺盛

営業拠点：中国、韓国
成形拠点：中国、マレーシア

営業・成形拠点のグローバル展開を活用し、受注拡大

(例)

韓国

お客さま：開発
当社：営業・技術サポート



メキシコ・アメリカ・中国

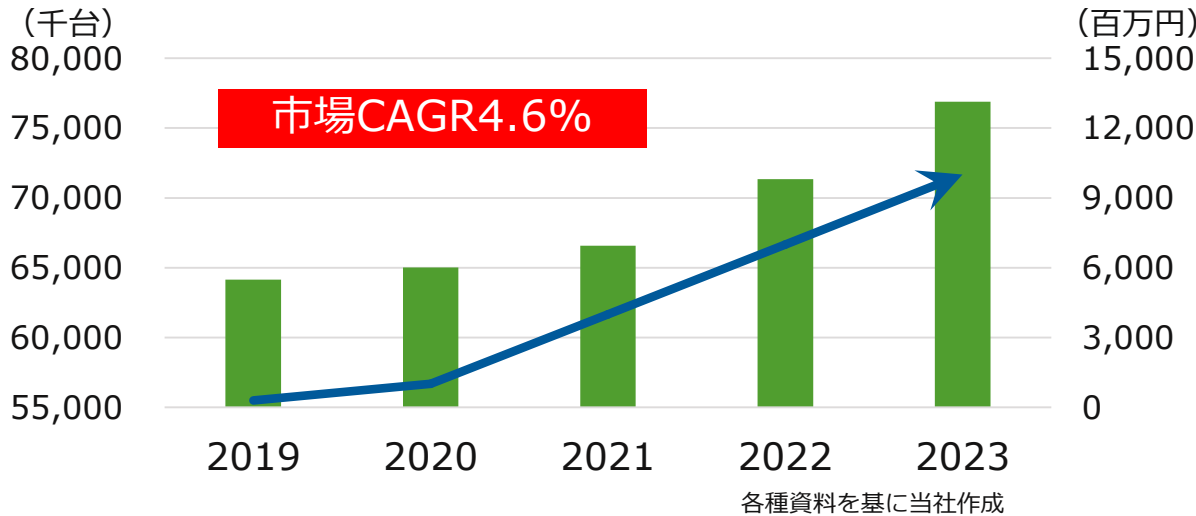
お客さま：組み立て
当社：部品・モジュールの生産



フィルムタッチセンサー モビリティ（自動車）向けで伸長

■ 車載タッチモジュール市場規模（左軸）

— 当社モビリティ向けフィルムタッチセンサー売上高予測（右軸）



モビリティ（自動車）市場の車載ディスプレイへのニーズ



- 大画面 ✓
- 異形・曲面 ✓
- 光学特性 ✓
- OLEDとの親和性 ✓

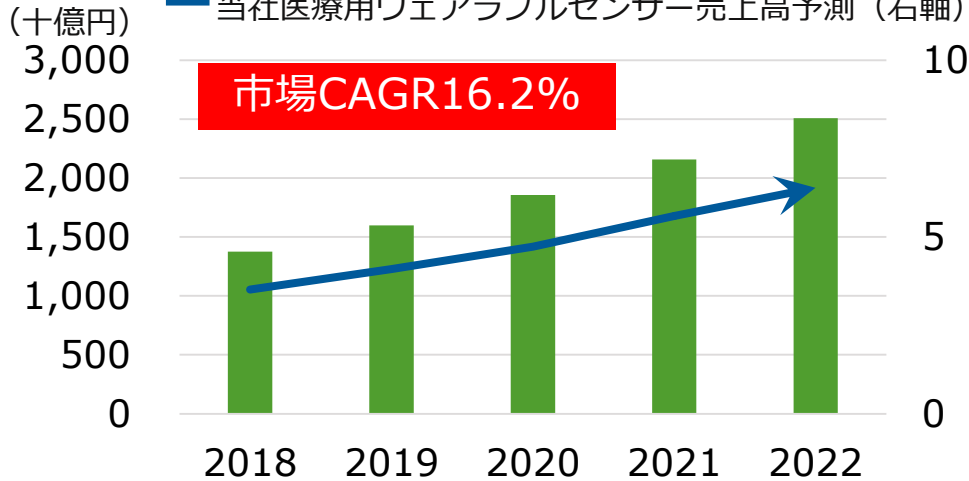
- ニーズに対応できる当社のフィルムタッチセンサー
- 安定的に大量供給できる生産体制
- モビリティ（自動車）向けに量産供給を開始（2019年12月）



医療用ウェアラブルセンサーの成長

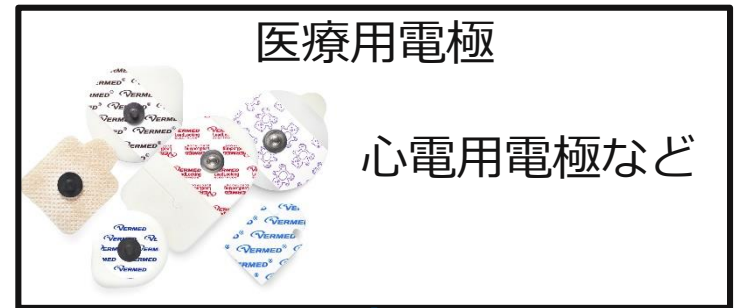
■ コネクテッド医療機器の市場規模 (左軸)

— 当社医療用ウェアラブルセンサー売上高予測 (右軸)



各種資料を基に当社作成

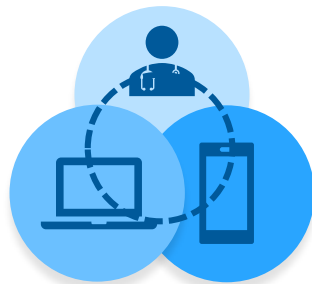
- 受託製造分野
- 医療用電極の設計・生産能力を活用し、ウェアラブルセンサーを展開



生体信号モニタリングデバイス



※写真はイメージです。

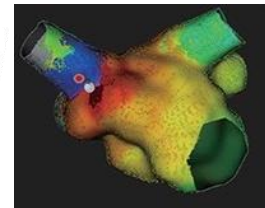


- 用途：心疾患（不整脈などの常時モニタリング）
- IT機器と連携し、データ解析に活用

心臓マッピング用電極



※写真はイメージです。



- 用途：電気生理学的検査

モニタリングデバイス
(スマートウォッチなど)



※写真はイメージです。

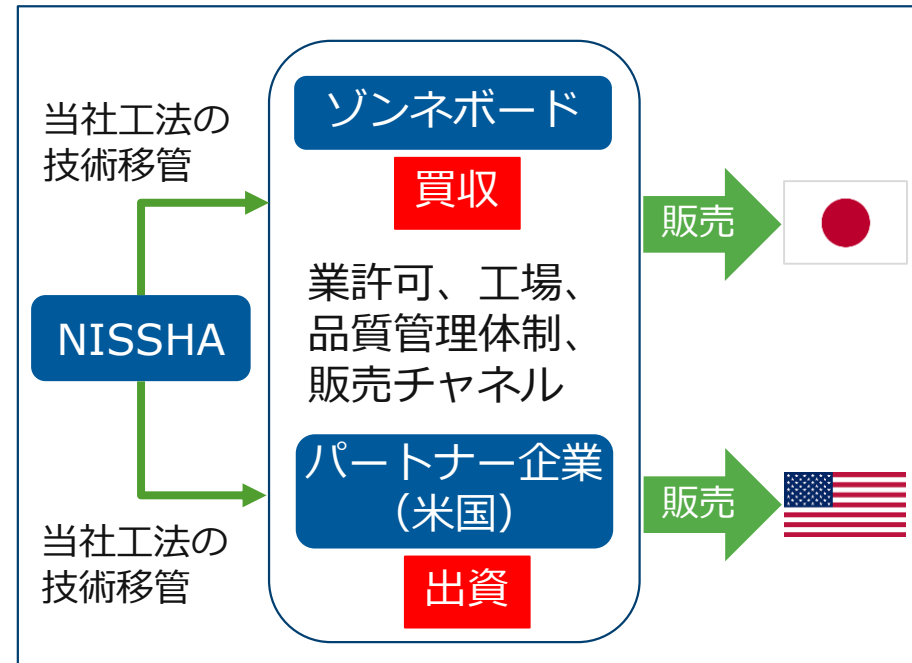


医薬品DDSに本格参入 ゾンネボード製薬（日本）の買収が完了

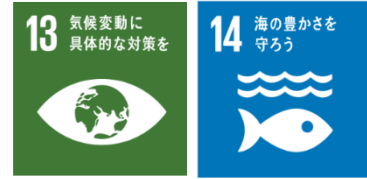
- 医薬品市場への参入に必要な業許可、生産工程、品質管理体制、販売チャネルなどの事業基盤を獲得
- フィルム状製剤の開発を加速
- 2024年をめどにゾンネボード製薬でフィルム状製剤を上市
- 2030年までに医薬品DDSで200億円規模の売上高を目指す

当社のDDS戦略

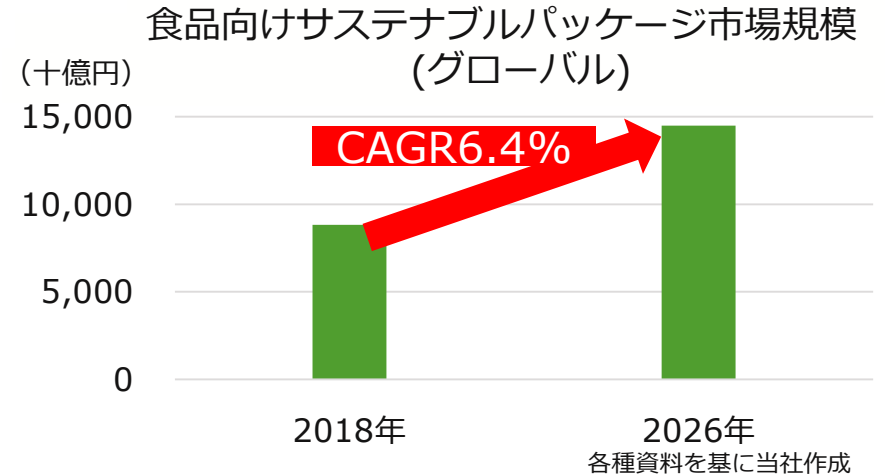
- 錠剤や注射剤からの剤形変更が市場機会
- 当社は製剤設計・製造を行う
- ターゲットはフィルム状製剤
- ゾンネボード製薬に当社工法を技術移管
- 米国パートナー企業に当社工法を技術移管



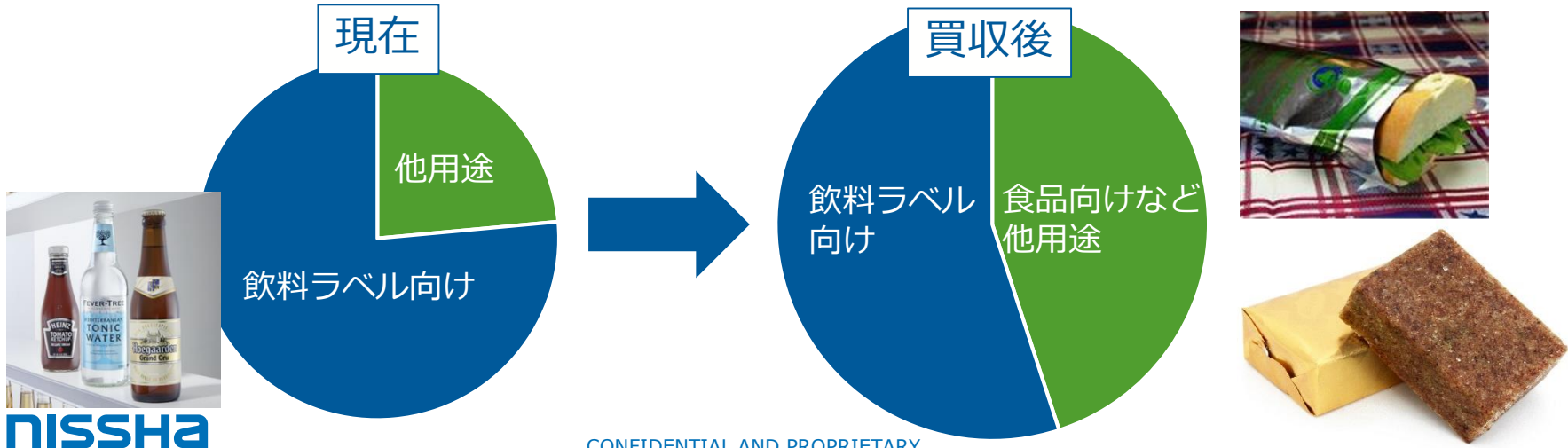
蒸着紙のシェア拡大により競争優位を確保 Eurofoil Paper Coating (ドイツ) を買収



- 蒸着紙のグローバルリーダーとしての地位を強固なものとし収益性向上
- Eurofoilの加工技術・生産能力を活用し新製品の開発を加速
- 蒸着紙の売上高は2019年の156億円から2020年に220億円を突破する見通し

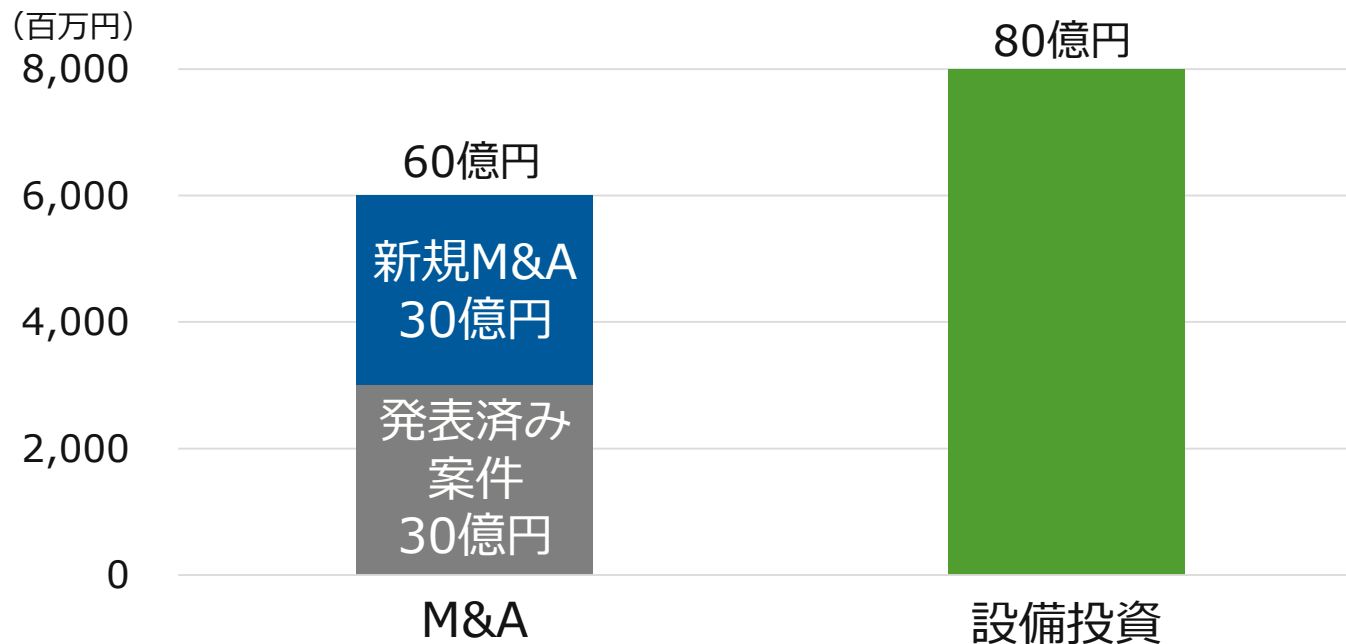


サステナブルパッケージの需要が高まる食品向けを中心に新製品を拡大



2020年 投資計画

- 総投資額：140億円
- M&A：海外を中心に60億円
 - うち30億円は2019年買収発表済みの案件のキャッシュアウト
- 設備投資：成長投資と更新設備を厳選し、80億円
- 政策保有株式の売却益（50億円規模）を充当



2020/12期 通期業績予想

H1は収益力強化策の一時費用を含む、H2からその効果を反映

(百万円)

	2019/12期 通期 (1-12月) 実績 日本基準	2020/12期 通期 (1月-12月) 予想 IFRS	2020/12期		参考	
			2020/12期 H1 (1月-6月) 予想 IFRS	2020/12期 H2 (7月-12月) 予想 IFRS	2020/12期 通期 (1-12月) 予想 日本基準	前期比 (2019/12期比) 日本基準
売上高	173,189	166,000	75,000	91,000	166,000	▲4.2%
産業資材	46,463	53,000	25,500	27,500	53,000	+14.1%
デバイス	94,706	77,600	32,700	44,900	77,600	▲18.1%
メディカルテクノロジー	24,068	25,700	12,400	13,300	25,700	+6.8%
情報コミュニケーション	7,417	7,800	3,600	4,200	7,800	+5.2%
その他	534	1,900	800	1,100	1,900	+255.8%
営業利益	▲ 4,307	▲ 2,000	▲ 6,000	4,000	▲ 815	-
営業利益率	-2.5%	-1.2%	-8.0%	4.4%	-0.5%	+2.0pt
産業資材	▲ 2,297	▲ 300	▲ 1,000	700	▲ 222	-
デバイス	1,151	▲ 200	▲ 4,000	3,800	1,590	+38.1%
メディカルテクノロジー	174	1,600	750	850	718	+312.6%
情報コミュニケーション	▲ 150	50	▲ 50	100	59	黒字化
その他	▲ 3,185	▲ 3,150	▲ 1,700	▲ 1,450	▲ 2,960	-
経常利益	▲ 4,696	-	-	-	▲ 1,515	-
税引前利益	-	▲ 2,700	▲ 6,300	3,600	-	-
親会社の所有者に帰属する 当期（四半期）利益	▲ 4,131	▲ 3,500	▲ 6,900	3,400	▲ 4,315	-
為替レート	¥108/\$	¥105/\$	¥105/\$	¥105/\$	¥105/\$	

2020/12期 通期業績予想 IFRS適用による連結業績への影響



(百万円)

	2020/12期 日本基準	2020/12期 IFRS	差異	調整項目
売上高	166,000	166,000	0	
営業利益	▲ 815	▲ 2,000	▲ 1,185	減価償却費▲833 のれん償却費+1,648 *特別損失▲2,000
営業利益率	-0.5%	-1.2%	-0.7pt	
経常利益	▲ 1,515	-		
税引前利益	-	▲ 2,700		
親会社の所有者に帰属する 当期利益	▲ 4,315	▲ 3,500	+ 815	

*収益力強化策に関する一時費用

ご参考：設備投資・減価償却費・M&A投資・ のれん償却費・研究開発費

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績	第3四半期 (7-9月) 実績	第4四半期 (10-12月) 実績
設備投資	1,602	2,187	2,524	1,637
減価償却費	1,943	2,003	1,983	2,005
M&A投資	-	-	-	2,500
のれん償却費	400	403	397	393
研究開発費	875	944	868	934

This document contains confidential information and all rights regarding the document belong to Nissha Group. Therefore, any disclosure and/or leakage of the document to any third parties other than recipients of the documents, and copy, transfer and/or citation of the document without the prior authorization of Nissha Group are strictly prohibited. In addition, any use of the document for the purpose other than original purpose for the disclosure of the document is also prohibited.

本資料には機密情報が掲載され、一切の権利はNISSHAグループに帰属しているので、NISSHAグループの事前の許可なく、本資料を受領者以外の第三者に開示、漏洩したり、複写、転送、引用することを固く禁止いたします。また、本資料の開示目的以外での使用は同様に禁止いたします。